

経営デザインシート((株)山翠舎)

自社の目的・特徴

・美しく快適な環境作りを通じて、お客様と感動を共有し、人類の幸福の増進に寄与する。
 確かな施工技術/解体技術をベースに、古木のお店づくりを通じて関係者（お客様、社員、協力会社）全員が笑顔になることを目指す。

経営方針

「地球ファースト」(持続可能な開発に貢献)

1. お客様本位 (WOW! と思っていただける仕事をする。かゆいところに手が届く会社になる。お客様のために良いと思うことは「すぐやる」等)、2. 社員重視 (社員が幸せになる経営をする)、3. 重点主義 (古木で世界一を追求する。挨拶と掃除を中心に凡事徹底する。コミュニケーションファーストを徹底する)、4. 仕組み (「手帳型経営計画書」を経営の道具として活用し、方針・数字を事業計画に落とし込む)

①

資源

ビジネスモデル群の統合

価値

②

資源

ビジネスモデル群の統合

価値

主要な資源

- ・古木の在庫数常時4000本以上
- ・インターネットによる受注体制 (高い元請け比率)
- ・企画から施工・運営支援の自社一貫体制 (熟練スタッフ等)
- ・古木活用店舗施工実績業界 No.1

知財
 ・「古木」他商標登録
 ・古木活用ノウハウ

事業ポートフォリオ

【各事業の役割・相互関係等】
 ・店舗内装/建築工事が基幹事業 (現状売上の過半数)
 ・古木/古民家事業は黎明期等)

【自社の強み】
 企画・設計から施工・メンテ・運営支援までの一貫体制確立

提供してきた価値

- ・ワンストップでクオリティの高いお店づくり
- ・古木で皆が笑顔になる

提供先から得てきたもの

- ・取引先からの社会的信用

これまでの外部環境

+要素
 ・堅調な店舗出店状況(2020年オリンピック、訪日客増加)、古民家移築や古木活用ニーズの高まり、空き家が社会問題化

-要素
 ・オリンピック後の受注見通し

全社課題 (弱み)

- ・職人の高齢化による技術力とノウハウの承継
- ・IT化/機械化対応

主要な資源

- ・古木の在庫
- ・設計・施工を行える自社・他社(業者)の体制
- ・古民家所有者・事業者・協力会社(不動産業者含む)・エンドユーザーのネットワーク
- ・古木の利用者等のデータ

知財
 ・古木・古木に係るビジネスモデルを伝えるネーミング(商標)、古木に関する新規商品(特許、意匠、商標)、古木に関するビジネスモデルに係る特許・商標、古木に係る出所・顧客等のデータ(著作権、不競法)など

事業ポートフォリオ

【各事業の役割・相互関係等】
 ・古木を活用した店舗の設計施工
 ・商業利用での古民家移築再生
 ・古木を活かしたヒット商品
 ・プラットフォームビジネス化/サブスクリプション化による定期収入

【自社の強み】
 企画・設計から施工・メンテ・運営支援までの一貫体制確立
 ・古木を中心とした古民家所有者・事業者・協力会社・エンドユーザーのネットワーク
 ・古木に関する利用者等のデータ

提供する価値

- ・ストーリー性ある古材(古木)を用いた施工等により、建物利用者に対する心地良い空間・サービスの提供
- ・飲食店等事業者のビジネスの持続・拡大
- ・環境負荷低減による社会貢献

提供先から得るもの

- ・古木を媒体とした、新旧ストーリーの“つながり”の実現

③「これから」の姿への移行のための戦略

これからの外部環境

+要素
 ・古民家の空き家数増加
 ・古民家人気の高まり(期待)

-要素
 ・人手不足(特に若手職人)
 ・オリンピック後の受注ダウン

移行のための課題

- ・古木の良さ・価値が事業者、エンドユーザーに十分伝わっていない
- ・古木に係る古民家所有者・事業者・協力会社・エンドユーザーのネットワーク化

必要な資源

- ・古木職人・現場監督・マネジメント人材

知財:古木・古木に係るビジネスモデルの良さを伝えるネーミング等、古木・古民家・利用者の管理システム、古木に係る出所・顧客等のデータなど

解決策

- ・古木職人・現場監督を育てる機会の創出(自社自身、自社運営の教室等)
- ・古木の価値を高め、ステークホルダーが利益を得やすくなるための活動(古木/古民家オーナー、事業者、エンドユーザーとの関係構築に資するストーリー作り、お墨付きによるブランディング。古木/古民家の潜在価値の顕在化(古木を使った事業者が成功する、というモデルづくり)
 →専門家も交え、当該ストーリー作り、良さを表すネーミングの開発(自社)、協会を通じた認証等により、お墨付きを与える(自社、専門家による支援(サービス標準等も含む))
- ・kobokuプラットフォーム戦略に係る仕組み・システム提供(古民家/古木の登録、事業者の囲い込みとコミュニティづくり、デザイン事務所への認定資格制度、古木アプリ、顧客ネットワークの構築、ICタグ活用等)
 →アイデア・実行・運営は自社(専門家による支援含む)、システム構築は他社に開発委託(ITに関する補助金等を適宜活用)

これまで

これから